

ユーモアスピーチ船橋

2024 (R6) 年 8 月 8 日 発行

ジョークは暮らしの調味料・ユーモアは人生のかくし味

211 回船橋ユーモアスピーチ

2024 年 8 月 8 日 (木) 3 分間スピーチ

スピーチテーマ 「パリ・オリンピック」、
「免疫力」
「自由題」「失敗談」

ロングスピーチ

辻内 京子さん：「この夏の物語」

中久木 一乗さん：「ヒトの【くち】」

7 月 11 日の参加者：大塚、川田、後藤、小畑、山本、
中久木、長井、佐々木、山田、工藤、原田、岩寺、町田、
植野 14 名

主催：NPOシニア大楽

ユーモアスピーチ共和国・船橋支部

支部長：長嶋秀治 043-261-5832

発行者：長嶋秀治

編集&事務局：町田雅和

267-0066 千葉市緑区あすみが丘
5-26-7 T/F 043-294-2911

mac555new@ybb.ne.jp

参加費 500 円 (入会金 1000 円)

見学科 1 回無料

開催日と場所 (原則)

毎月第②木曜日 15:15~17:30

会場 船橋中央公民館 第9集会室
5 階

前回のロングスピーチ (7 月 11 日)

「知って得する佐倉惣五郎の話」

大塚 親雄さま

我が国代表的義民として有名な佐倉宗吾 (本名 木内惣五郎) 様は、1612 年、佐倉藩公津村で生まれ名主総代だった。1652 年に暴風雨で農作物が全滅した際に年貢減額を藩に願い出たがかなわなかった。堀田正信の悪税に悩む村民のために総代となり江戸に出て將軍に直訴を決意。累が及ばぬよう妻を離縁、4 人の子供を勘当して同年 12 月 20 日徳川家綱が墓参りする際に決行。その後 3 年間、農税は免除され、他の税も軽減された。

ただ惣五郎と勘当が認められなかった 4 人の子供は翌年 8 月に処刑された。佐倉藩はその失政を悔い宝暦 2 年 (1791 年) 百回忌の時に堀田政亮公は宗吾道閑居士の法号を諡号しました。以来惣五郎様は宗吾様と呼ばれるようになり寛政 3 年 (1791 年) 堀田正順公は徳満院の院号と石塔一基を寄進しました。文化 3 年 (1804 年) 堀田正時公は惣五郎様の子孫に田高 5 石を供養田として与えました。この話は歌舞伎や講談で人気の演目。福沢諭吉は「学問のすゝめ」で、「世界に対して恥じることなかる可き者は古来一名佐倉宗吾あるのみ」と記した。

堀田正盛 下総佐倉藩の初代藩主 正室 あぐり 酒井忠勝の娘

長男 正信 佐倉藩 2 代藩主 次男 脇坂安政、3 男 堀田正俊、4 男 堀田正英、
5 男 南部勝直。



家光時代の義民
佐倉惣五郎



前回のロングスピーチ (7 月 11 日)

「私の人生と、最後の 10 年間の使い方」

川田 茂雄さま

1. 私は先月 6 月末で、79 才に成りました。
2. 私の終末『自分の死』までに、約 10 年前後有ります。今回、このロングスピーチの機会に、この残り 10 年を如何に楽しみながら使うか、明確にしたい。ついでに、『自分の死』についても真面目に楽しく考えたい。

(スピーチの INDEX)

1. 私の、今までの人生の概要：車の事故を 2 回起し、幸運にも 2 回共命拾いをした。他の諸々の経験は、全てこの 2 回の命拾いの『おまけ』と考えている。

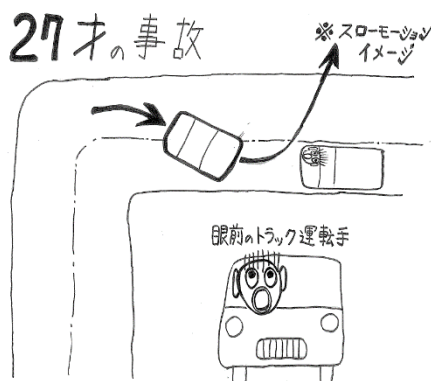
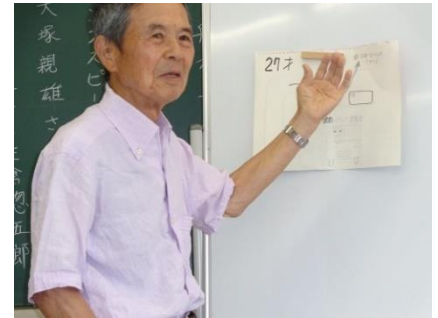
* 1 度目の事故：27 才の時、トラックと正面衝突しそうになった時、ハンドルを思いっきり切って、危うく衝突は免れたが、車は仰向けに転倒し車体全体が歪み廃却。私は無傷だった。

* 2 度目の事故：57 才の時、国道を大型バイクでツーリング中疲労で居眠りし、

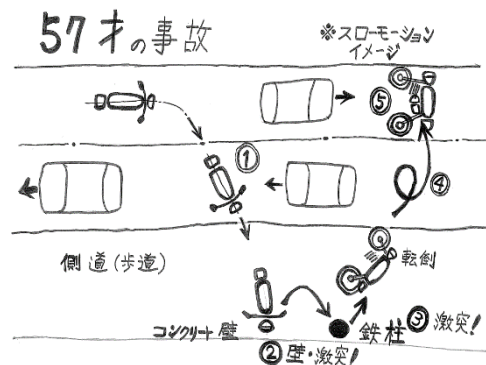
① 対向車線を横切り、側道のコンクリート塀に正面衝突直前に目が覚めて、

② ハンドルを思いっきり切った瞬間コンクリート塀に激突し、側方にバイクと一緒に飛ばされ、

③ 街路灯の鉄柱にバイクの前部（フロントフォーク）が激突し、跳ね飛ばされ転倒する。私は、バイクと一体で、転倒しながら旋回し再度、対向車線を横断した後、元の車線に戻って静止した。



(上記、27 才の車事故のイメージ図)



(上記、57 才の車事故のイメージ図)

2. 残り 10 年間の使い方：今までの人生の中で、反省し今後の 10 年間に生かしたい。事は、仕事第 1. 主義で家庭は 2. の次だったこと。

* 家庭第 1. とし、具体的には『家事 50% 分担』を完璧に遂行する。

* ゴルフ、読書、等の趣味の時間は、上記の余った時間を当てる。

3. 残り 10 年間の使い方、スペシャル編：『自分の死』について真面目に楽しく考える為に。

* 養老孟司さんの、『死の壁』『運のつき』、そして永六輔さんの、『大往生』『二度目の大往生』等の本を基にして、自分の死について真面目に楽しく考え、結果を、将来この船橋ユーモアで発表したい。

3 分間スピーチダイジェスト

テーマ 「期待」「暑気払い」

佐々木 由美子「期待」(当日予定していた原稿のダイジェスト)

皆さんのスピーチに期待して毎月参加している。入会当初は自分のスピーチに精一杯で余裕が無かったが、今はそれぞれの個性あふれるスピーチを楽しんで傾聴できる。入会して丸5年になった。本当は10年後と言いたいが取り敢えず5年後の自分にも期待したいと思う。年齢を重ねることが楽しいと思えるようになったのが船橋ユーモアスピーチの会だ。今後も皆さんに期待している。

中久木 一乗：「期待 その2」(当日予定していた原稿のダイジェスト)

生きている間は 健やかに 楽しく、長くと願っているが、願うだけでは 殆ど効果はないであろう。「出来る限り」きれいな空気を吸い続けることと、良い食べ物を食べ続けること。後は運命に任せる。

何が正しいか？どの情報が間違えないか？…物事の判断は難しいが、国連(WHO)とNHK と日経新聞の情報で、あとは仕方なく自己責任で判断するしかない。

口で、毒物(からい・酸っぱい・苦い)。危険物(おきい・鋭利・堅い・熱い)を、鼻で、毒気体を検知し避ける。⇒最低限の護身術＝口でタバコ吸気しない。

6月例会でお話しした「実現したいタバコ問題九つ」が、私の「期待1」です。

町田 雅和：「期待」(当日予定していた原稿のダイジェスト)

私の期待の若手は、松丸亮吾くん、ご存じですか、都知事候補の石丸さんじゃないですよ。松丸亮吾 28 歳、東大工学部卒、謎解きクリエイター、謎解きを始めたきっかけは末っ子で何をしていても兄たちに勝てず日々悔しい思いをしていたが、小学4年生のときに家族6人で食事をしている最中に『あるクイズ番組』を見ていたら家族の誰よりも早く問題を解くことができ、ひらめきで解ける問題に興味を持ったこと、図書館で謎解き関連の本を次々と読破したために解く問題がなくなり、自分で問題を作るようになった。

なにしろ頭の回転が速くてコメントが素晴らしい、本当に惚れ惚れします。一度彼が出ているテレビ番組を見て下さい。お勧め番組 Eテレ「ニュー試」



川田 茂雄：「期待」

私の期待は、自分に対してだけです。自分に対してなら、期待に応えられるまで、何回でもトライできるからです。しかも、トライする毎に新しい経験ができるからです。自分に期待した最近の例は、猛暑の夏にも食欲の湧く、『だいこん蕎麦』です。結局、3回目のトライで満足の行く美味しい味になりました。決め手は、だいこんを3mm四方の細い線状に切る事でした。今、トライ中のメニューは『ビーフシチュー』です。既に5回トライしましたが、肝心の肉の歯応えがイマイチでした。

予告：9月 「船橋ユーモアスピーチの会」

9月12日(木)15時15分～ 船橋中央公民館 4階 第2集会室

ロングスピーチ

植野 晏生さん :「大江戸の成立」

スピーチテーマ 「穴場」、「おにぎり」、
「自由題」、「失敗談」